

議会だより

# 東くらし

第159号

令和5年  
11月10日発行

発行 鹿児島県東串良町議会  
編集 広報広聴常任委員会  
電話 0994-63-3132(直通)

地域おこし協力隊 3年目。  
肉用牛ヘルパー組合と共に活動中！

関連記事 p24

みどころ

- 決算「73億円の使いみちを評価」…………… 2～5
- 一般質問…………… 12～20
- クイズ…………… 23

活動車



# 生活を守る施策を評価

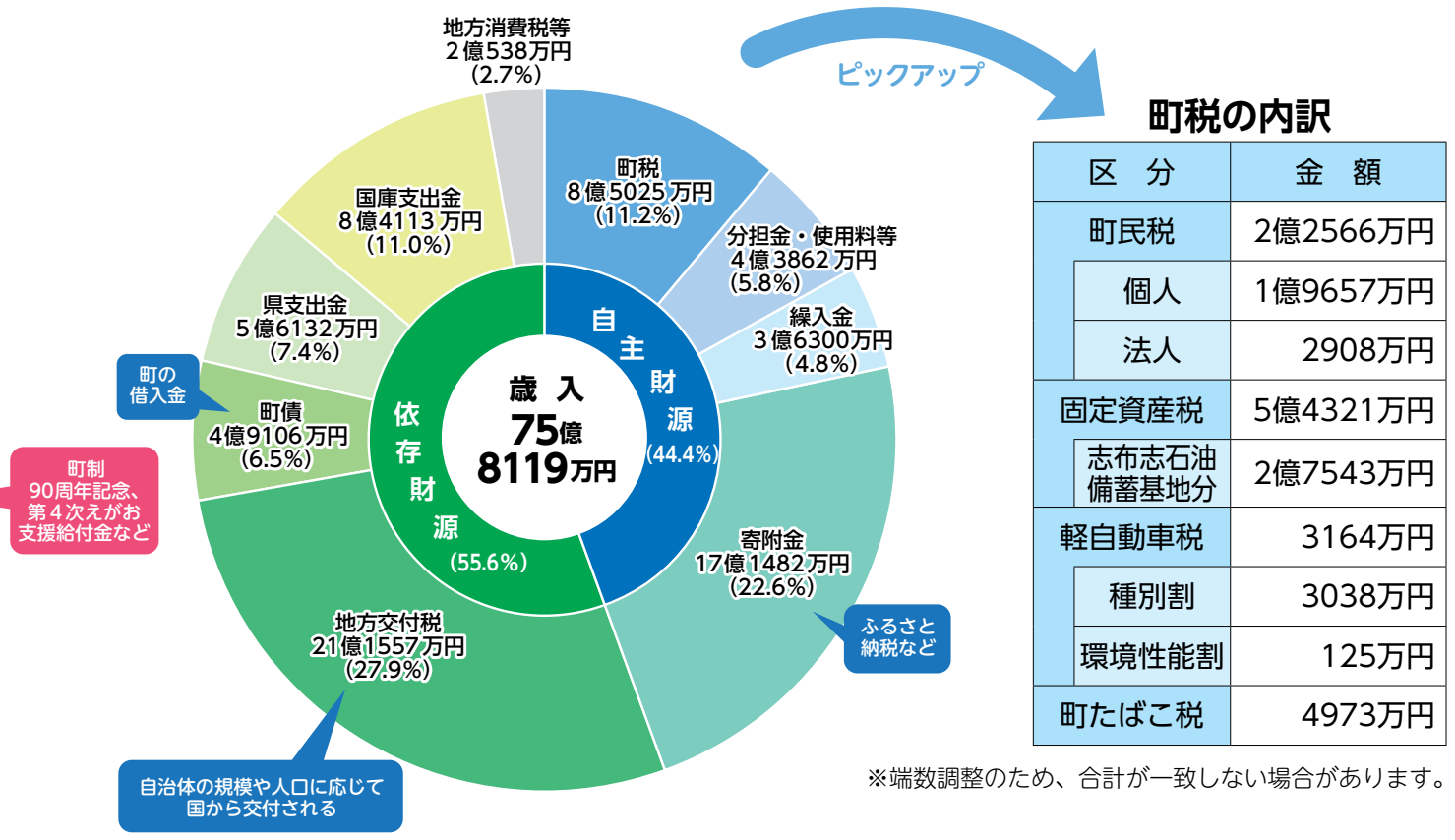
令和5年第3回定例会は、9月8日から9月26日までの19日間の会期で開きました。

町長から提案された令和4年度一般会計、各特別会計、水道事業会計の決算は、決算審査特別委員会を設置して審査を行い、全ての会計を認定しました。(関連記事P. 2～5)

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大やウクライナ情勢などの影響により、各方面で物価高

騰の負担を強いられる中、生活者や事業者の負担を軽減するための支援策が講じられました。なかでも、全世帯への給付金支給やプレミアム付き商品券は家計支援へとつながりました。また、町制施行90周年を祝う各種事業が盛大に行われました。

なお、一般質問には8人の議員が登壇し質問しました。(関連記事 p.12～20)



健全化判断比率の区分 (一言で表すと)	早期健全化 基準	令和 4年度
①実質赤字比率 (一般会計の赤字度)	15.0%	- (良好)
②連結実質赤字比率 (全会計の赤字度)	20.0%	- (良好)
③実質公債費比率 (借金割合)	25.0%	7.8% (良好)
④将来負担比率 (財政圧迫度)	350.0%	- (良好)

早期健全化基準以下であれば、東申良町の財政が良好な状態を示しています。また、水道事業会計の資金不足比率はありませんでした。

※数値がマイナスになる場合は、「-」で表示しています。

**財政は引き続き良好**

自主財源対前年度比 約8億6811万円増

主な理由は、ふるさと納税寄附金が5億3921万円増です。また、志布志石油備蓄基地にかかる固定資産税(国有資産等交付金)は、約258万円減となっていて、償却資産評価額の減により、年々減額しています。

# 令和4年度 決算認定

# 地域経済と



記念誌印刷製本代 208万円



東申良之郷購入事業 463万円



NHKのど自慢関連経費 783万円



中学校トイレ改修工事  
2385万円

## 令和4年度水道事業会計決算状況

※1万円未満を切捨てています

	収入決算額	支出決算額
収益的	1億 871万円	1億 848万円
資本的	0円	1億 647万円

## 水道事業会計の経営成績

※1万円未満を切捨てています

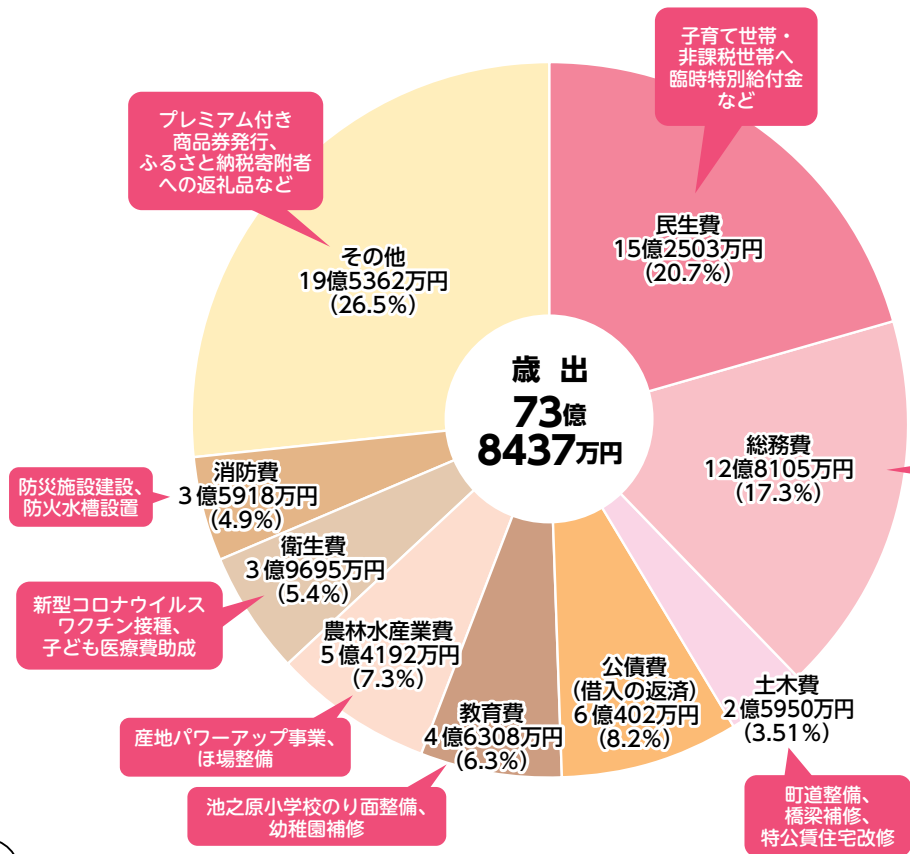
総収益	9798万円
総費用	1億431万円
純損失	632万円

厳しい経営・  
赤字と  
なっている。

## 令和4年度特別会計歳入歳出決算状況

※1万円未満を切捨てています

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特別会計	11億8840万円	11億4175万円
介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	10億 384万円	9億5033万円
介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	694万円	346万円
後期高齢者医療特別会計	1億 978万円	1億 912万円
合計	23億 899万円	22億 468万円
前年度決算額との比較	3.4%増	8.6%増



**町の借入金と貯金**

令和4年度末現在の一般会計と特別会計の合計です。

▼基金(貯金) 47億 829万円

▼地方債(借入金) 57億 1823万円



# 決算審査の報告

— 決算審査特別委員会 —

## コロナ禍のイベント開催などを評価 観光資源の活用を提案

決算審査特別委員会では、令和4年度の一般会計及び各特別会計、水道事業会計の歳入・歳出について審査しました。

昨年は町制施行90周年を迎え、コロナ禍のなかではありましたが、記念式典やのど自慢等が盛大に行われたことを評価しました。その一方で、ドームハウスなどの町内の観光資源を、最大限活かした活用を図るよう提案しました。

### 評価する意見(予算執行・事業効果)

- 財源を見出しながら各種事業が効果的に実施されている。
- 消防組合市町負担金は議会と執行部が連携し取り組んだ結果、構成市町との協議が進み負担軽減につながる方向性が示されている。
- 町単独事業による課税世帯への給付金により、物価高騰に対する家計支援につながっている。
- ふるさと納税は、自主財源の確保と地域産業の振興に大きく寄与している。また、企業版ふるさと納税を新設し、地域で活用できる受け皿の体制が構築されている。
- 町制施行90周年記念事業において、NHKのど自慢や記念式典・祝賀会、記念誌の発行等、町民の記憶に残るイベントの工夫が図られている。
- マイナンバーカードや合併処理浄化槽の普及率向上が図られている。
- 納付手段としてコンビニ納付ができるようになり、利便性が向上している。
- 町税等の徴収率が全体的に上がり、また、滞納処分の手続きも取られている。
- 国民健康保険では、レセプト点検の効果が出ている。
- コロナ感染症対策を講じながら、介護予防事業のころばん体操やひらめき体操、認知症総合支援の認知症カフェが実施され、地域で安心して過ごせる活動が図られている。
- 町単独事業の農林漁業振興支援補助金により、農業者等の施設整備や機械導入の支援が図られている。
- 鳥獣被害防止対策については、捕獲方法を工夫しながら実績を上げられている。
- 農道や生活道路などの陳情箇所は、補助事業を活用しながら整備が図られている。
- いじめの認知件数が増えているが、早期に原因を発見することによりいじめの対応策につながっている。
- 小中学校の施設整備は利用しやすい工夫が図られている。
- 学校給食の食材調達は、町内産・県内産を積極的に活用し、食育活動も推進されている。

# 町当局に14項目の施策を提案

- ① 本町の安定した行財政運営のために、今後とも地方交付税や国有資産等所在市町村交付金、石油貯蔵施設立地対策等交付金等の制度維持を引き続き政府に強く求められたい。また、石油貯蔵施設立地対策等交付金については、一般財源化への取り組みとして全国石油備蓄協議会等での積極的な要望活動に努められたい。
- ② 耐用年数30年を経過している志布志石油備蓄基地については、安全性の対策など、国への積極的な働きかけに努められたい。
- ③ 再任用職員の人事配置は、今後とも職員がこれまで培ってきたノウハウや資質が活かされるように適材適所に配慮されたい。



次回の東くしら会も同様の支援を

- ④ 徴収の専門員を配置し、徴収の強化を図るためにも滞納処分を積極的にすすめて、不納欠損の縮減を図り、税の公平性に努められたい。
- ⑤ ドームハウスをはじめ、町の観光資源を最大限に活用できるように努められたい。
- ⑥ 関東、関西東くしら会への金銭的・人的支援を継続されたい。

- ⑦ 町営プールの老朽化に対する施策や柏原地区振興対策などをはじめ、町の施設を建設する時は、計画・立案にも住民の声を反映させる仕組みづくりに努められたい。
- ⑧ 農業委員会においては、水土里サークル事業との連携を図りながら、耕作放棄地の発生防止と解消に継続的に努められたい。特に、川東南部と松林周辺の耕作放棄地の対策を強化されたい。
- ⑨ 農業公社を設置して、I・Uターンの受け入れ体制を確立し、新規就農者や農業後継者の育成に努められたい。
- ⑩ 児童生徒の個性を伸ばす指導を工夫しながら、学力・体力向上について、継続的な対策を講じられたい。
- ⑪ 総合的な学習の時間や文化祭などで、芸術活動を行っている町出身者や町にゆかりのある人の活用を図られたい。



マツケムシ対策に地上散布を実施

- ⑫ 耕作地内への空き缶空き瓶の不法投棄を撲滅させる方策を図られたい。
- ⑬ 松林内のマツケムシ対策は、引き続き適期に防除を行うよう対策強化を図られたい。
- ⑭ 町民の文化的・スポーツ的活動を推進するためにイベントや各種事業団体への支援を充実されたい。

## 水害排水用対策 ハイドロポンプ一式を購入

予算額  
**6000**万円

現在、柏原と唐仁に水中ポンプが設置されています。しかし、既存の水中ポンプの重量は4mのものでも250kgあり、容易には動かせません。今回導入予定の水中ポンプは90kgで人力での移動ができ、設置、回収も簡単になります。また、給水、排水はもちろん消火機能を持ち、送水距離1kmと、火災現場など様々な場面での活躍が期待されます。



ハイドロサブシステム  
60ユニット本体



水中ポンプ

**導入機器** ハイドロサブシステム  
60ユニット（油圧ホース30m、  
油圧駆動ディーゼルエンジン搭載）、  
ユニット積載車（車両総重量5t未満）、フラットポンプ（大容量用、毎分15m<sup>3</sup>）、レギュラーポンプ（遠距離用、毎分4m<sup>3</sup>）、  
二又分岐金具、多岐分岐金具（最大5つのホース装着可）

### 質疑

**問** ポンプはごみが詰まると、能力が発揮できない。最大限に能力が発揮できるような使用方法を。

**答** 今回のハイドロサブシステムのフラットポンプは、給水口に約4センチ角の金網が張ってある。異物等の侵入を防ぎ、石や木片などを間違って吸い込んだ場合は、ポンプの中で砕いて水と一緒に排出される。

仮にビニールやマルチ等が、その金網を塞いだときは、容易にビニール、マルチを回収し、即座に排水の再開ができる。

## 池之原小学校内の フェンスを2mへ

予算額  
**550**万円

正門近くのフェンスを高さ2mのものにかえます。樹木の伐採が進み、安全面に配慮した対策です。



現在のフェンスは、大人の腰上くらいの高さ

## マイナンバーカードで 印鑑証明の発行が可

従来の印鑑登録証の添付のほか、本人がマイナンバーカードを提示すれば証明書を発行できるようになりました。また、コンビニ交付もできるようになりました。

## 負担付き寄附の 受入決める

寄附の条件は、次のとおりです。

● **金額** 100万円

● **寄附者** 松留 謙一氏

● **寄附の条件**

- ① 町内の小中学校の図書室の図書購入費とすること。
- ② 内訳として、柏原小学校30万円、池之原小学校30万円、東串良中学校40万円とすること。
- ③ ①と②の寄附の目的以外への寄附金の使用については、寄附金を返還すること。

### 質疑

**問** 寄附金の申し出があった時、受け入れを判断するための条件があるか。

**答** 受け入れるかどうかは、町長の判断。今回の寄附は、負担付き寄附であったため議会の議決が必要であった。

**問** 今回の寄附者は、裁判を2回起こしている。この2回の裁判にかかった弁護士費用や賠償金等の全部の金額は。

**答** 着手金や弁護士費用、賠償金等を含め、622万円程度支出した。

**問** 寄附者は今回の裁判で勝ったから寄附したのか。  
**答** 分からないが、寄附条件にあるとおり、有効活用させていたいただきたい。

## 不登校児童生徒に対して 多様な学習機会の 確保のための経済 的支援制度の確立を 求める意見書否決

提出者 小川香織議員

### 質疑

**問** 塾に通う人たちを含めた支援は考えられなかったか。

**答** 提出された陳情には、塾という文言はなかったため、入れていない。

### 【おわびと訂正】

議会だより東くしら第158号（令和5年8月10日発行）の、3、6ページにおいて農業委員のお名前に誤りがありました。おわびして訂正します。

（誤）木佐貫 孝一氏

（正）木佐貫 一孝氏

# 臨時会・9月議会

## 議案等に対する 議員の賛否状況

**採決**とは、議長が議案等について出席議員に賛否の意思表示を求め、それを集計することを言います。

**表決**とは、議員が議長の採決に応じて、賛成・反対の意思表示をし、議会の意思決定に参加することを言います。表決には、起立によるもの、投票によるもの、異議の有無の確認のみを諮る簡易採決の方法があります。

※過半数で議決すべき場合には、議長には表決権がありません。

(備考:○…賛成 ×…反対 -…表決権なし)

	件名	賛否の意思表示										議決結果	
		上池	小川	児玉	瀬戸山	牧原	西園	前田	上園	宮地	田之畑		
p. 21 臨時会	専決処分	一般会計(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
	補正予算	一般会計(第5号)	○	×	○	×	○	○	○	○	○	-	原案可決
9月議会 (p. 256)	人事	固定資産評価審査委員会委員の選任(竹之内広臣氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
	条例	東申良町職員旅費支給条例【一部改正】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		<b>解説</b> 一般職員と特別職(町長、議員等)の出張に係る費用の均衡を図るため、日当や宿泊費等を見直しました。											
		東申良町印鑑条例【一部改正】	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	原案可決
		東申良町子ども・子育て会議条例【一部改正】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	<b>解説</b> 子ども・子育て支援法の改正に基づき、関連条文を見直しました。												
	令和5年度 補正予算	一般会計(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		一般会計(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		国民健康保険特別会計(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		介護保険事業(保険事業勘定)特別会計(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
後期高齢者医療特別会計(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
令和4年度 決算	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
	国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
	介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
	介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
	後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
	水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
その他	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
	<b>解説</b> 同組合を組織する団体の名称が変更したため、規約を見直すことを決めました。												
	負担付きの寄附の受納	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
	債権の放棄 (奨学金債権及び連帯保証債権 181,000円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
	<b>解説</b> 奨学金の滞納者が所在不明となり債権の消滅時効期間が経過し、かつ、連帯保証人は死亡していることから回収できる見込みがないため債権の放棄を決めました。												
議員提出議案	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書	×	○	×	○	×	×	×	×	○	-	否決	

## 町ぐるみの子育て支援策

～岡山県奈義町へ視察～（令和5年8月1日）

本町の子ども・子育て支援施策の現状等を調査した後、岡山県奈義町の若者が定住し、安心して産み育てられる町ぐるみの子育て支援策を調査しました。

## 1. 調査の概要

## (1) 少子化対策は最大の高齢者福祉

若者や子育て世代が減少すると、今ある商店やスーパー、病院、交通機関など生活に必要な施設や機能・サービスの維持が困難となるため、住民みんなで町の未来を考え話し合っている。

## (2) 奈義町子育て応援宣言

平成24年4月1日に「奈義町子育て応援宣言」を発表。

## (3) 経済的支援（奈義町単独事業から一部抜粋）

高等学校等就学支援金交付事業  
生徒1人当たり年額24万円

を在学中の3年間支給。

## 不妊治療助成事業

県の助成を引いた額の1/2以内で年20万円を限度に通算5年間まで。

## 不育治療助成事業

1年間の治療費等で30万円を限度に通算5年間まで。

## ひとり親福祉年金交付事業

中学3年生までの子どもを育てるひとり親に年額5万4000円を支給。第2子以降は1人2万7000円加算。

## 在宅育児支援金交付事業

在宅育児する保護者に、該当児（満7か月～満4歳になった後の最初の3月末まで）1人当たり月1万5000円を支給。

## (4) 住む場所の提供

賃貸住宅81戸は満室のため、民間賃貸住宅の建設に助成をしている。また、分譲地87区画も分譲済のため、民間分譲地整備に助成をしている。

## (5) 働く仕事の提供

平成4年に完成した企業誘致の区画には、16社が立地し、約800人が就労している。

また、子育てしながらでも就労できる「しごとコンビニ事業」というシルバー人材センターの若年層向けのような仕組みがある。

## (6) 町民同士で支えあう子育てサポート制度

奈義町では、「なぎチャイルドホーム」が核（みんなの場所）となり、多様な地域の人が関わる仕組みを構築し、子育ての悩みや喜びが共有できるようにしている。この「なぎチャイルドホーム」には、子育てアドバイザーが常駐し、子育て世代が気軽に通える施設として開放されていて、次のような子育て支援活動がある。

## 自主保育だけの子

保護者と保育スタッフが協力して運営する自主的な保育活動。

## 一時預かりすまいる

「病院に行く間、下の子を預かってほしい」「買い物に行く間だけ子どもを見てほしい」など、一時的に子どもを預かってほしい時に、子育て援助会員に依頼できる制度。

子育て中の方や地域の方々の食卓に、地元の旬の野菜をひと手間加えて届ける。

## 農業ママ楽ベジ

誰でもいつでも来られる場所。子どもと大人の世代を超えた出会いの場。

## 子どもの第三の居場所

小中学生のためのコミュニティスペース。異年齢で放課後を過ごすみんなの居場所。

## 子ども第三の居場所

東串良町子ども・子育て支援事業計画における本町の支



廊下には、おさがりを50円ほどで販売

## 2. 意見

東串良町子ども・子育て支援事業計画における本町の支

援施策の現状等を調査したが、当該事業計画の中には本町で実施していない事業もある。住民から要望があった場合、有効な施策を実施してほしい。

また、子育て世代の声を拾い上げる工夫を施し、時世にあった支援施策を積極的に展開してほしい。

岡山県奈義町では、子育て支援施設「なぎチャイルドホーム」のソフト面の取組が功を奏している。特に、高齢者が子育てに参加するシステムは保護者の心の支えになっている。また、高齢者にとっても子どもや保護者との交流で元気をもらい双方にとって利点の多い仕組みとなっている。このことから、今後計画される複合施設には誰でも自由に利用できる子育て支援のためのスペースを設け、「交流・相談・イベント」を通して町ぐるみで子育てを支援し、産み育てやすい町づくりを目指してほしい。

最後に、多様化社会における子育て支援対策や少子高齢化対策などを女性の目線で総合的に検討する「総合福祉女性会議」の設置を提言する。



# 農福連携の取組み

～岡山市おおもり農園へ視察～(令和5年8月2日)

本町の農業の担い手の現状等について、調査した後、農福連携に取り組んでいる「株式会社 おおもり農園」へ視察調査を行いました。

## 1. 調査の概要

### ▼農福連携の始まり

平成14年に、夫婦2名でいちご農園を始めた。人手が足りず、施設外就労の話がきっかけで、農福連携の取り組みが始まった。

農業からの農福連携には次の3つのパターンがある。

1. 農業者の直接雇用
2. 福祉事業所への作業委託
3. 自らが障がい者事業所を立ち上げての作業委託

作業委託をお願いし、障がいのある方と作業を共に行う中で、おおもり農園の大森さんは、支援があれば収入を見込んだ働き方が可能であることがわかり、精神障がいを持たれている方の支援を中心に

自身で障がい施設の立ち上げを行った。(就労継続支援A型)

### ▼働きやすい環境構築

実際の作業では利用者の適性を考慮した勤務となるよう、作業の分析と適性チェックを行った。この分析により、困難な作業がわかり、本人の適性に応じた作業の割り当てができ、作業効率の向上や不安要素の減少が図れるシステムを作った。現場では、至る所に障がいがある方が働きやすい工夫や取り組みが行われ、サイズに合わせた音声判定機システムなどが導入されていた。また、並べ方などを写真で展示するなど、視覚での工夫も行われていた。

### ▼ノウフクJAS取得

大森さんは、作業効率が向上することで、新しい従業員への作業指導も行え、業務拡大につながるという説明された。また、続けて人材不足が解消

されることで後継者育成につながることも説明された。このような取組と実績から、おおもり農園では農福連携によって生産された商品の農林規格である「ノウフクJAS」の認証を岡山県で初めて取得した。この認証取得は、販路拡大や雇用するスタッフの向上心にもつながった。

### ▼大森さんの思い

最後に、大森さんは持続可能な農業と福祉との連携は将来性があると述べられた。

障がいの特性により働き方の違いに注目した作業分担や障がいの種類と特性を考え、作業分析スコアにて適性を確認するなど、地域の主要産業である農業を活性化し持続し



誰でも理解しやすい工夫が施されている



サイズに合わせた音声判定機システム

ていくためには、多様性を取り入れた農業のあり方が必要であると話された。

## 2. 提言

- 多様性を鑑みた持続可能な農業の存続から、あらゆる働き手の可能性を見出し、雇用の創出を支援すること。
- 町内の事業所と農業のマッチング事業を行い、担い手の確保、事業継承、事業の拡大を図るため町としても
- 介入すること。
- 支援事業所の立ち上げ促進を図ること。
- 町内の障がいのある方に対する雇用対策を検討すること。
- 農業だけでなく人手不足は現在の課題であるが、障がい者を農業にどれだけ、どの作業にできるか検討すること。

# 大隅総合開発期成会 要望活動に参加して

文 田之畑 稔



真夏の8月22日(火)から23日(水)の2日間、大隅総合開発期成会の中央要望に参加した。今回は鹿屋市・志布志市・曾於市・垂水市・南大隅町・東串良町の首長・議長による「大隅地域の振興に関する29項目」の要望活動であった。

宮原町長、総務課長と共に22日早朝の便で上京した後、衆議院第一議員会館に直行して森山代議士を尊敬訪問した。今回の中央要望は、森山代議士に全ての関係省庁への手配を依頼したものである。午後定刻に各首長と議長が参集し、衆議院第一議員会館地下の第6会議室での農林水産省及び国土交通省とのテーブル協議が行われた。

農林水産省に対する要望は、  
1. 肥料及び燃油等農業生産資材の価格高騰に対する支援について

2. 農地集積・集約化及び大区画

化の促進について

3. 畜産振興対策の充実・強化について

4. 水田の高度利用に伴う取水施設等の整備・更新に対する支援策について、鹿屋市長が項目ごとに要望の趣旨説明を行った。これに対して、農水省からは実務を担う関係課長らが真摯に応答した。

次に、国土交通省とのテーブル協議では、  
1. 東九州自動車道をはじめとする高規格道路及び域内主要道路の整備促進について

2. 錦江湾横断道路の早期事業化について

3. 志布志港の重点的な整備推進について要望した。  
国土省に於いても関係課長などから現状認識と対応について丁寧な説明が行われた。

今回の農水省及び国土交通省への要

望活動は、テーブル協議方式で行われたことで、要望事項への双方の意見交換が図られ意義深いものであった。

夕刻には、森山代議士も出席された地元国会議員及び大隅領事との懇談会が催され大隅地域の振興に関する要望事項の実現を期して意見交換した。

翌23日は、午前中に国土交通省への要望書の持ち回りであった。はじめに森山代議士の同席による廣瀬水管理・国土保全局長との面談による要望を行い、次に小笠原次長への要望を行うと共に中野大臣官房審議官、森本河川計画課長、奥田治水課長に要望書の持ち回り活動を行った。

この時期は、国の概算要求に併せて全国各地から陳情団が上京して、霞が関は各省庁周りの団体が競合する風物詩である。

地域課題の要望実現と予算獲得の為に国に対して平身低頭して陳情する在り様は、日本の中央集権国家を実感するものであり、より有力な政治家を育て活用することが、要望実現や予算獲得に必要であることを改めて痛感する次第である。

## 議会のユーチューブ配信始めました!

チャンネル名

●閲覧方法について、2パターンお知らせします。

その①

右の二次元コードから東串良町ホームページの「一般質問の録画配信」のページへアクセスする  
▼  
質問議員の「外部リンク」をクリックする。

その②

本誌13~20ページ掲載の各議員の二次元コードからアクセスする  
▼  
スマートフォンのカメラを起動  
▼  
二次元コードにかざす  
▼  
「YouTubeで開く」をタップする。



◀ホームページ二次元コード



●閲覧できる期間は、およそ1年です。

# 志布志国家石油備蓄基地の 津波・護岸維持・災害対策 への対応を質問

## 議会質問 その1 護岸を主体とした構造物は津波を想定して設計されていますか。

志布志石油備蓄(株)

- 設計時には津波ではなく、港湾の施設の技術上の基準(昭和54、55年)に基づき、有義波高の高潮を想定して設計されています。(代表例:東護岸 有義波高6.9m)
- その後、南海トラフ地震が発生した場合を想定し、平成26年度に基地内既設護岸の安定性調査(耐力照査※1、※2)を行い、鹿児島県地域防災計画にて想定されている津波に対して既存の護岸は安全性を保つことが確認されています。

※1.津波の波圧に対する上部工の性能照査

※2.引き波時の護岸の安定性の照査

## 議会質問 その3 最近、多発する自然災害から、「想定外」という概念は排除されようとしています。

考えられるのに十分すぎる災害想定を議論し、いままで申し上げた構造物の老朽化、欠陥、盲点に対処する事業、支援を国に積極的に働きかけるべきだと考えます。その意向を尋ねます。

志布志石油備蓄(株)

- 基地の安全性、健全性において必要と思われる対策は既に対応しています。
- 災害対策基本法に基づき国においては中央防災会議にて防災基本計画を、県においては県防災会議にて地域防災計画を策定し「想定外」を含む災害を想定し、災害予防、災害応急対策、及び災害復旧等の対応に備えています。
- 資源機構としても、国や県の動向を常時確認し、地震・津波想定などの情報更新時には、適宜新たな想定での基地の安全性・対応事項を検証していきます。

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構及び志布志石油備蓄(株)から令和5年10月開催の住民説明会に先立って、議会に対し基地操業等に係る質問の依頼がありました。議会は、防災・減災特別委員会において、基地操業等に係る質問を8つ、意見を1つ集約し提出しました。

先般、志布志石油備蓄(株)から議会の質問に対して回答書が届きましたので、安全操業に係る内容を一部お伝えします。



## 議会質問 その2 護岸構造物の耐用年数は30年。工事開始から30年経過した。この重要ファクターをどのように考えていますか。

志布志石油備蓄(株)

- 護岸構造物の耐用年数(参考1、2)は、一般的に30~50年と言われていますが、環境や維持管理方法などで大きく変わるものです。
- 当基地は、建設時以来、護岸の健全性を確保するため、国土交通省の「海岸保全施設維持管理マニュアル」等(参考3、4)に倣い「土地保全業務」として護岸の検査や部分補修などを継続して行っています。
- 建設時より、保全を行っているおかげで、護岸の機能を損なうような損傷はなく、維持管理できています。
- 今後もマニュアルに基づき保全を継続していきます。

(参考1)国土交通省資料 土工の耐用年数について

(参考2)(国税庁)主な減価償却資産の耐用年数表(減価償却年数の根拠用)

(参考3)海岸保全施設維持管理マニュアル

R2.6月 農林水産省(農村振興局防災課・水産庁防災漁村課)、国土交通省(水管理・国土保全局海岸室、港湾局海岸・防災課)

(参考4)港湾の施設の点検診断ガイドライン

R3.3月 国土交通省港湾局

# 一般質問

# 町政を問う

## 一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねることです。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっています。

### 瀬戸山 譲一 (13 ページ)

- 全国学力テスト後の対策は
- 給食センター新設のコンセプトは 他

### 児玉 勇治 (14 ページ)

- 複合施設の賛否を問うのか
- 街灯の維持費等の補助を

### 小川 香織 (15 ページ)

- ハラスメント対策の取組み
- フリースクール利用への支援は 他

### 上園 ミキ (16 ページ)

- 少子高齢化対策の考えは
- 高齢者と子育て世代が集える場所を 他

### 西園 貞美 (17 ページ)

- 物産館の運営をシルバー人材センターに委託する考えは

### 上池 勝彦 (18 ページ)

- 子牛価格が低迷し影響を受ける畜産農家への対策は
- 空き家店舗等の活用に対する支援助成制度の確立を

### 宮地 利雄 (19 ページ)

- 学校給食費は全額助成になるか
- 給食業務の委託等は何か考えているか 他

### 前田 隆 (20 ページ)

- 公約の実現度は
- 優秀な人材確保のため、給与等の処遇改善を

※掲載内容については、質問者が質問と答弁を要約し、東串良町議会広報広聴常任委員会編集したものです。



# Q. 全国学力テスト後の対策は A. 授業を理解できたか の見届けを図る

**瀬戸山** 全国学力テストで本町は思わしくない結果であった。その要因と対策を尋ねる。

**教育長** 授業における教師の見届けが不十分であることが考えられる。児童生徒が授業を理解できたか、見届けることを学校に指導している。

**瀬戸山** 教師の長期休暇、退職者が多いと聞く。本町の状況を尋ねる。

**教育長** 本町も例外ではない。教師に声かけ、傾聴、さりげない支援など教育に対してやりがいを感じ、心の健康を保ちながら業務を続けられるよう努めていきたい。

**Q** 給食センター新設のコンセプトは

**A** 安全で安心な学校給食の提供

**瀬戸山** かなりの残食があると聞く。なぜか。

**教育長** 今、食事時間を延長することで改善されている。

**瀬戸山** 給食センター新設のコンセプトは何か。

**町長** 長期的な利用を見据えて、新しい土地に改築し、安全で安心な学校給食の提供に努めたい。

**教育長** 学校給食法に定められた学校給食衛生管理基準への対応及び効率的な運営のため、新学校給食センターの整備を推進したい。

**Q** 円滑な行政運営に情報共有が必要

**A** 要求された資料は個人情報等を除き、全て対応している

**瀬戸山** 議会からの報告物はほとんど執行部に届かず、執行部からは国や県からの情報は開示されない。円滑な行政を執り行うには、情報共有が必要だと思うが、どのように認識しているか。

**町長** 情報共有は必要であると思う。本会議において、お諮りしているので、議員の言う情報が開示されないということはないのではないか。

なお、議会より提出を求められた資料等については、個人

情報などを除き、全て対応していると思う。

**総務課長** いろいろな情報があるわけが要請があれば、県の情報を公表するのにやぶさかではないので、お申し付けいただきたい。

**Q** アイデアプレゼンに参加した中高生へのフォローは

**A** 事業は完結したが縁は消えていない

**瀬戸山** 4年前、東京の中学生3人に町活性化の指針、提言をもらった。その後のフォローはどうなったか。

**町長** アイデアコンテストの一番の目的は、本町の知名度向上と関係交流人口の増加を図ることに重きを置いて実施した委託業務の事業であり、その年度をもって完結した。

しかし、東串良町と生徒さん方との縁は消えていない。1人の方は、鹿児島旅行中に町長室に訪れてくれた。親御さんがふるさと納税で寄附をしてくださったことなどを話

した。

**Q** 地域おこし協力隊が4ヶ月で辞めた理由は  
**A** 一身上の都合で、本人の意向

**瀬戸山** 3月に来てくれた地域おこし協力隊が4ヶ月で辞めた。なぜか。

**町長** 一身上の都合、本人の意向であった。

【その他の質問】

中長期的ビジョンについて質問しました。内容については会議録をご覧ください。

# Q. 複合施設の 賛否を問うのか

# A. 住民アンケートを実施 するが、賛否は問わない



**児玉** 複合施設の建設について、町民に対し、賛否を問う考えはないか。

**町長** 現在、基本構想、基本計画づくりに向けた複合施設建設検討委員会を立ち上げている。この検討委員会の中で、町内全世帯を対象とした町民アンケートの内容を検討する予定である。11月開催予定の検討委員会にて、アンケート内容を協議した上で最終決定となる。しかし、アンケートには、複合施設の設置に対する賛否は盛り込まない。

**児玉** 複合施設の建設に対して基金はいくらか。また、どのような補助金を活用するのか。

**町長** 令和5年5月末時点で、公共施設等整備基金に8億3000万円ほど積み立てている。

複合施設を建設するための総事業費が30億円の場合、2分の1の国庫補助金の条件を満たし、採択された時の補助金額は15億円である。交付税措置される過疎債を7億円起債した場合、交付税措置額が

5億円程度となり、残りの10億円程度が町の支出となる。

**児玉** 建設にかかる費用は町の負担だけではなく、補助金等も活用することを町民にも、広報紙等を通じて知らせてほしい。

この施設に対する位置づけと、活用方法はどうか考えているか。

**町長** 複合施設の場合、機能、役割、規模等について広く住民の意見を取り入れながら複数の公共施設の機能や、災害時の避難施設としての機能も兼ね備えた本町にふさわしい複合施設の建設実現を目指して取り組んでいきたい。

## Q. 街灯の 維持費等の補助を

### A. 現在は考えていない

**児玉** 以前は150基あった商店街の街灯が今はもう80基しかない。この街灯を有効活用できないか。

**町長** 各振興会での設置、電気料の負担をお願いしている。使用されなくなった街灯

は商工会と振興会で協議の上、そのまま利用し、電気料等は振興会が負担することが考えられる。また、老朽化により危険な場合も想定されるので、設置した商工会等で撤去した方がよい。

**児玉** 町から振興会への補助金はいくらか。

**町長** 現在、振興会に対する補助金は、1振興会当たり基礎額5000円、1世帯当たり3000円交付している。

**児玉** 振興会にある商工会の街灯は、保険料4000円、管理費3000円で、維持費は年間7000円必要である。一度街灯を撤去すると、再生

は難しい。商工会では振興会に「振興会が電気代を払えば街灯を残す」と回答したが、振興会が拒否した経緯がある。振興会へ、維持費と電気料金として、別に補助金アツプはできないか。

**町長** 振興会に対する補助金の1世帯当たり2500円の交付金を500円増額し、3000円にしたため、これ以上の増額は現在のところ考えていない。

**児玉** せっかく設置されている街灯である。商工会と執行部で連絡を密にし、現在ある80基が維持されることを希望する。



街灯を存続させる方策を



おがわ 小川 香織 議員

YouTube



# Q ハラスメント対策の 取組み

# A 規程を定め、 周知している

**小川** 働きやすい職場の環境づくりでは、行政トップや管理職を含め様々な配慮とハラスメントが発生しづらい仕組みづくりを構築する必要があります。本町の考えと今後の取組み、またハラスメント防止条例などの制定について検討する考えはないか。

**町長** ハラスメントは、許されない行為である。ハラスメントをしない、させない職場環境づくりは重要な課題だと認識している。「ハラスメントの防止に関する規程」を制定し、ハラスメントの防止については、職員へ定期的に周知を行っている。

私自身、朝おはようございますと、皆さん大きな声で返してくださいとお願いし、職員の皆さんに声を出しなさいと言っている。

**?** ハラスメントとは？  
いやがる行為全般。

**Q** フリースクール  
利用への支援は

**A** 個別の経済的支援は  
考えていない

**小川** 多様な学びの場としてのフリースクールについて、どのように考えているか。

**教育長** 自宅以外の場所が家族以外の人とつながれる環境は社会との大事な接点となる。フリースクールを利用するのは一つの手段と認識している。

**小川** フリースクールを利用する児童生徒への助成や支援等は。

**教育長** 現時点では児童生徒に対する個別の経済的支援は考えていない。

今後、国や県、近隣市町の動向も踏まえた上で検討の必要性を判断したいと考える。教育委員会としては、今後とも教育の根幹とも言える魅力ある学校づくりを推進したい。

**Q** イベントで子どもへの  
優待はないか

**A** 予算化していない

**小川** ふるさと応援基金を活用し、町で行われるイベント

トにおいて子どもを対象とした助成、支援等が行えないか。

**町長** 予算の財源に、ふるさと納税寄附金を充当するこ

とは計上すらされていない段階において答弁することは差し控えたい。子どもたちのために、ふるさと応援基金を活用してほしいという議員の気持ちは理解できる。意見としてたまわる。

**小川** コロナ禍において、子どもたちは様々な制限を受けてきた。その中で、本町では、のど自慢の開催、キャンプ場の設立があった。そこに本町の子どもたちが、体験宿泊やのど自慢という貴重なイベントに優先的に参加しても

らうとか、今度のイベントでは、本町の子どもたちを優先的に招待するなどといった考えは難しいか。

**企画課長** 町としては、まずはイベントを成功させるというところに全エネルギーを集中したいと思う。来年度に向けていろいろなことを考えていき、

予算を提案し、議員の理解をいただければと考えている。

**小川** イベントに関して町の予算は使われていないか。

**企画課長** 当然委託している内容、今回補正予算で上げている内容を盛り込み予算は組んでいる。

**小川** 町の財源を使うのであれば、町民に対する優待企画を、計画の段階で考えておくべきだったのではないか。

**企画課長** 11月3日、4日が開催日で、それらに関する予算は、今回補正予算で計上したもので、もし可決いただければそれが全てである。当初で計画しておかないといけなかったのではということだが、いろいろと財源の問題もあり、一応可能な範囲内でやっている。町民の子どもたちが使える支援というのは、また次に検討していきたいと考える。

## 【その他の質問】

給食センター建替えについて質問しました。内容については会議録をご覧ください。

# Q. 少子高齢化対策の考えは

# A. 少子化の改善が必要

YouTube



うえぞの  
上園 三キ 議員

**上園** 少子高齢化対策及び子育て支援対策について、町長はどのような考えを持っているか。

**町長** 少子高齢化は、日本全体で起きている深刻な社会問題だが、まずは、少子化の改善が必要であると認識している。

本町の子育て支援としては、誰もが安心して子どもを産み、育てられる環境の実現に向け、保育サービスの充実など、東串良町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てしやすい環境づくりを推進している。施策や子育て・高齢者支援は次のとおりである。

### 「子育て支援施策」

- 児童手当などの直接給付
- 妊娠、出産支援
- 母子保健
- 地域の子育て支援
- 出産育児一時金の引き上げ
- 令和5年12月から新たに国民健康保険加入者の産前・産後の期間の保険料免除措置の実施を予定

### 「町独自の子育て支援」

- すこやか支援事業
- 赤ちゃん子育て世帯応援事業
- 子ども医療費助成
- 保育所利用料半額助成、無料化
- 副食費免除など

### 「町独自の高齢者支援」

- 敬老年金給付事業
- 紙おむつ給付事業
- 高齢者訪問給食事業
- 各種健診事業
- ころばん体操
- 栄養教室など

## Q. 高齢者と子育て世代が集える場所を

## A. 複合施設の計画に反映されると考える

**上園** 他町とあまり変わらない内容だが、本町独自の事業もある。

少子高齢化問題は、お金だけで解決できるものではないと思う。まずは、高齢者と子育て中のお母さん、お父さんが集える場所、環境を整えることも大事なことはないか。

町は複合施設建設に向け、検討委員会を設置し、動き始めた。町長の諮問機関である検討委員会に、親子が集えるスペースを設けられないか投げかけ、検討してほしい。

**町長** 複合施設の一角に、子育て中の親子が集えるスペースを設けてほしいという思いも必ずや基本構想、基本計画に反映されるものであると考える。また、そうあらねばならないと思う。

**上園** 私たちは、すぐに結果を求める。しかし、視察に行った岡山県奈義町は、試行錯誤を繰り返し、結果が出たのは20年後である。高齢者も一緒になって子育て・支援する仕組みづくり、場所づくりを長い期間をかけて作り上げていく。そういう環境で育った子どもたちが大人になり、子どもを育てるときに、我が町のことを思い出してくれるものと私は信じている。

## Q. 体育館周辺にいつでも使えるトイレ設置を

## A. 現在、トイレの設置場所の選定を含め検討中

**上園** 体育館敷地周辺に体育館利用者が気兼ねなく、いつでも自由に使用できるトイレの設置はできないか。

**町長** 町では、体育館や運動場の利用者が使いやすいトイレの設置場所の選定を含め、現在検討している。



体育館周辺トイレを24時間開放してほしい





# Q. 物産館の運営をシルバー人材センターに委託する考えは

# A. 指定管理者は公募で選定を行う

**西園** 物産館の運営について、物産館がオープンして何年になるか。

**町長** 平成16年4月の開業で、本年4月をもって丸19年が経過している。

**西園** 物産館に指定管理者委託料という名目で、毎年190万円支払われている。19年前から今まで3610万円支払われている。物産館の運営が順調なら、これはいらない委託料である。町長は、この金額に対し、どう思うか。

**町長** 議員の言うとおり、私も頭をちよつと悩ませていく。行くとばいに閉古鳥が鳴いているような状況。物産館は開業以来、一貫して東串良町物産館出荷協議会に運営をお願いしていた。客数、売上げ共に減少傾向に歯止めがかからない状況である。

また、出荷協議会の収支の悪化に伴い、館長を雇用できない状態となっており、経営が悪循環に陥っていると認識している。

**西園** 物産館では、現状どのように考えているかという

ことだが、例えば、冬場には、温かいものを売るとか、夏場には冷たいものを売るとか、客を寄せる努力をしたらどうかと思う。定期的に、販促会議をやっているのか。

**農林水産課長** 物産館の役員会で月一回定例会を開催し、その中で協議をしている。毎月の売上げについては、町に報告義務があるため、報告を受けている。

**西園** 物産館では、品物が売れないから、今農協がつくっているどつ菜市场に持っていくんだという話がある。物産館で品が売れば、物産館のほうが利用されると思う。なぜ客が少ないのか、なぜ売れないのか、出荷協議会と協議をし、もっと活気のある物産館にしてほしいと思う。今後の物産館に対する考えを尋ねる。

**町長** 来年3月に期限を迎える指定管理者は、公募により民間事業者から事業提案をいただき、多くの選択肢の中から候補者の選定を行うことが必要であると考えている。

**西園** 先般、7月9日の南

日本新聞に、伊佐市でシルバー人材センターが直売所で頑張っているという記事があった。我が町もシルバー人材センターに委託したらどうかかと思う。目鼻先を変えて、客を寄せる対策を十分に取ってほしい。シルバー人材センターに委託する気持ちはないか。

**町長** シルバー人材センターを含め、公募し、プレゼンをしていただき、やる気を出させる形で進めていく。

**西園** 町民の生産者のためにもぜひ頑張っていたいただき、客を寄せるようなAコープとかミネサキが心配するくらい頑張っていたいただきたいと思う。



活気ある物産館にしてほしい

## 会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所を設置しています。また、町のホームページでも見ることができます。

- ☆役場 1階ロビー本棚
- ☆福祉センター
- ☆総合センター

是非ご覧ください！



【東串良町 HP】



# Q. 子牛価格が低迷し影響を受ける畜産農家への対策は

## A. 国も飼料高騰、子牛価格に対し支援している



YouTube



かみいけ かつひこ 議員  
上池 勝彦

**上池** 子牛平均価格について、価格の下落幅とその要因を尋ねる。

**町長** 子牛平均価格だが、4年度は、郡平均が55万489円。5年度は、8月競り市までの郡平均が48万8000円と値下げ幅が大きく、非常に厳しい状況となっている。その要因として、円安による燃油や肥料、飼料等、生産資材の高騰などにより、肥育農家の経営を圧迫したためではないかとみている。

**上池** 子牛価格の低迷の長期化は、本町の畜産農家の経営に大きな悪影響を及ぼすが、町長の所見と対策を尋ねる。

**町長** 肉用牛農家数は現在105戸である。そのうち70歳以上が60戸で、後継者がいない農家が7割以上である。今後、生産資材等の高騰や子牛価格の低迷が長引けば、農家数減少にさらに拍車がかかることを危惧する。

一方、繁殖雌牛の飼養頭数は、10年前の約2160頭に対し、4年度は、約2500頭と増加している。今後、飼

養頭数を維持していくことが重要だと考える。

経営の一助になればと昨年、一次産業資材等支援事業に努めた。

国の支援では4月～6月期で、飼料の高騰に対し、1t当たり7050円支給があった。また、令和5年中に販売される子牛を対象に、60万円を下回った場合、1頭当たり1万5000円支給される。本町には、383頭に574万5000円の補填があった。

**上池** 昨年当初から現在までの飼料や肥料などの価格上昇は、どうなっているか。

**町長** 飼料価格は、1t当たり1万3650円の値上げである。子牛が生まれ競り市に出荷するまでの飼料費の上昇幅を算出したら、1頭当たり約1万2000円の値上げであった。肥料価格は、基準となる高度化成で1袋当たり1156円の値上げである。

**上池** 10月からスタートするインボイス制度への加入はどのような状況か。

**町長** 8月30日時点で、本

町肉用牛農家15戸の生産者がJAに申請し、割合で約14%となっている。

**上池** 強制ではないにしても、競り市の名簿にインボイス事業者かどうかが表示されるようになり、免税事業者の牛が安く買われることが十分に懸念される。インボイス制度は、中止または延期できればと思う。

町から畜産農家の火を絶やさないためにも、今後の畜産業に対する町長の思いを尋ねる。

**町長** 私も長年畜産業をなりたいとしてきた。その経験上、苦難を乗り越えれば、いつかきっと良き日は必ず来ると確信している。今が踏ん張りどきではないかと思っている。

**Q** 空き店舗等の活用に対する支援助成制度の確立を

**A** 先進事例を参考に、前向きに検討したい

**上池** 商店街の空き家や空き店舗等を活用した事業を展開しようとする方への支援助

成制度を早急に整備し、豊栄商店街の活性化を図るべきではないか。

**町長** 支援助成に関する補助金は、今後、先進事例も参考にしながら前向きに検討していきたいと考えている。

**上池** 豊栄商店街の活性化を図るためには、専門的な人材の確保が早道ではないか。

**町長** 専門的な人材の登用には慎重を期す必要もある。雇用の受け皿など、まずは様々な視点から研究していくことが必要であると考える。豊栄商店街の明るい未来のために検討していきたいと考えている。



活性化を図るため専門的な人材の確保を



# Q. 学校給食費は全額助成になるか

## A. 現行のまま

**宮地** 今年の6月議会です学校給食費については、全額助成への方向で検討したいという答弁であった。この全体像について尋ねる。

**町長** 6月議会において、「子育て世帯の経済的な負担軽減のために給食費の完全無償化について検討してまいりたい」と答弁した。しかし、学校給食費の負担については、学校給食法第11条に「食材料費は保護者の負担である」と定められている。

本町における学校給食費は、小学校は4000円、中学校が4500円である。平成28年2学期から保護者の経済的負担軽減と定住化促進を目的として、児童生徒1人当たり月に2000円を町費で補助をしている。また、最近の食材料費の高騰分についても、町費で補助している。

今後も法の趣旨を踏まえつつ、学校給食費の全額助成ではなく、子育て世帯の一環として、さらなる助成に努めてまいりたい。

**宮地** 6月議会での答弁より

りも後退していると思う。各地で、食材料費についての保護者の負担を覆して、既に多くの自治体で給食費の完全無料化が実現進んでいる。

この問題については、引き続き取り組んでいきたい。

**Q** 給食業務の委託等は何か考えているか

**A** 業者の選定は今後協議

**宮地** 今問題になっている給食センターだが、役場下の職員駐車場隣に設置したのが1999年である。それからわずかに二十四、五年で、實際上、運営できないような状況に陥っている。多くのクラックが発生し、すでに新たな用地交渉など、具体化が始まっている。

今後の食育の在り方、業者へ委託、業務の在り方、人員の配置、そして地元食材の活用など、今回の建替えの機会に考えていることがあるか。

**教育長** 現在、用地、設計、補償費調査や地質調査について

ては、迅速にその業務を遂行している。

また、調理員及び配送員の業務については、令和6年3月末日をもって3年間の業務委託が終了することになるので、業者選定については、今後、関係機関と協議していきたい。

**Q** 農業用軽油に対する減免の制度の周知を

**A** 町の広報紙等でお知らせするなど検討したい

**宮地** 農業用軽油に対する減免の制度がある。リッター当たり32円10銭である。年間1万リッター使うところは32万000円分軽油が安く買える。この制度を多くの農家に知らせていくことは非常に大事ではないか。

現在、本町における耕作証明で、軽油免税に使っている農家は何戸あるか。

**農業委員会事務局長**

令和4年度で61件、令和3年度で60件である。

**宮地** この制度についての周知はどうか。

**町長** 農業者が利用できる免税手続を知らない農業者へ周知することは必要だと思うので、町の広報紙等でお知らせするなど検討したい。



農業用軽油減免制度の周知を

# Q. 公約の実現度は A. 子ども・若者・お年寄りに 各施策を実施



**前田** 2期8年間の集大成について、公約は全て実現したか。

**町長** 町長就任以来、私の目指すまちづくりは、笑顔あふれるまちづくりをスローガンに掲げ、「子どもに夢を」、「若者にロマンを」、そして「お年寄りに愛を」の3点を重点に推進してきた。主なものは、次のとおりである。

- 各小中学校の管理職住宅の整備
  - 18歳までの子ども医療費の全額助成
  - 給食費の月2000円の助成
  - 中学校駐車場整備
  - 池之原小学校ののり面工事
  - 柏原小学校駐車場整備
  - 各学校の体育館のLED照明設置など
  - 町制施行90周年記念事業（NHKのご自慢）
  - えがお給付金の単独助成
  - アマビエ商品券発行事業
- また、複合施設建設に向けて、動き出したところである。
- 前田** 1期目は、にぎやかタウン雪山の陥没事件、2期目に、地方創生の裁判の事件、

この前解決した元職員の賠償請求の裁判、1期目、2期目は大変だったと思う。

今任期の最終目標は何か。

**町長** 公約の実現に向けた取組みを引き続き行う。

具体的には、柏原海岸の整備、柏原児童館跡の有効活用として、明光園跡地や町営プールの活用方法について検討し、道筋をつけられたらと思っている。

複合施設は、建設の基本構想、基本計画の策定が始まり、検討委員会を8月に設置し、公募による町民は2名の方に委嘱している。

**前田** 来年の町長選挙への立候補表明が6月の新聞で報道されていた。どのようなまちづくりを推進するのか。

**町長** 先ほど申した事業や、これまでの取組みを継続していきたい。

**前田** スピード感をもって、取組んでもらいたい。

**Q** 優秀な人材確保のための給与等の処遇改善を  
**A** 特殊勤務手当の支給を検討したい

**前田** 今年の職員採用試験において、募集した職種、募集人数、受験者数はどのようになっているか。

**町長** 今年度は、土木専門職1名、社会福祉士1名、一般事務職若干名の募集を行った。12名の応募があり、全て一般事務職である。9月17日に一次試験を実施予定である。

**前田** できるだけ町内の方の採用をお願いしたい。

町政を進める上で、職員の方が必要不可欠である。優れた人材を確保するため、給与等の処遇改善が必要と思う。

**町長** 職員の力は必要不可欠である。本町のような小規模自治体においては、職員一人一人の能力は重要であるので、優秀な人材を確保したいと常々願っている。

処遇、特に給与の面では、基本的に国家公務員に準じているので、改善は困難と考える。



給与等の改善を望む

る。ただし、職員が取得している資格や業務の内容に基づいた特殊勤務手当の支給について、調査研究の上、検討したい。

優秀な人材であれば、定員管理計画に捉われることなく、定数条例の範囲内で積極的に採用していきたい。

**前田** 優秀な職員を採用するには、手当が多ければ、職員の士気も高まると思う。これは前向きに検討してほしい。

# 給食センター改築を決定



中学校グラウンド

建設予定地 (中学校の体育館近く)

8月9日に東串良町学校給食共同調理場(通称:給食センター)の改築に関し、執行部から概要説明がありました。また、8月18日に議会は給食センターの現地調査を行いました。8月21日に開かれた臨時会では、給食センターの改築に伴う用地費と測量設計監理業務委託料等の予算(4510万円)が提案され、賛成7人、反対2人で予算は可決されました。

## ▼給食センターの概要と現状

給食センターは、平成11年度に施工され築年数24年となっています。場所は、役場庁舎から北西側にあり、周辺には職員駐車場と水田があります。

9日の執行部による説明では、建物内外に多数のクラック(ひび割れや亀裂)が見受けられることや、地下配管施設内のクラックと一部陥没を確認していることの内容でした。

また、経年劣化による故障や今後見込まれる修繕箇所や概算、建物内部の改善が必要な状況の説明がありました。多数のクラックは軟弱地盤のため発生しているのかどうかの究明や地盤改良は建物がある以上、容易にできるものではないことを確認しました。そのため、表には、これらの調査費や改良費等は含まれていません。

(表1) 今後必要とされる修繕箇所・費用

修繕箇所	金額
浄化槽(7月に故障し、応急対応)	2,600万円
屋根(6月の豪雨にて、大量の雨漏り)	3,500万円
調理場床(つぎはぎだらけで、業務に支障)	2,500万円
炊飯施設、和え物室(増築)	1,500万円
配管、ボイラー(耐用年数を大幅に超過し、修繕も増加)	3,000万円
南北プラットホーム庇修繕、エアカーテン等	2,000万円
計	1億5,100万円

## ▼臨時会

臨時会の審議では、場所を変えて給食センターを建て直すのかどうかを判断するものでした。このことから、反対討論2人、賛成討論2人の意見表明がありました。予算は起立採決により賛成多数で決まりました。なお、建設費用の予算は次年度以降に提案される予定です。

# 討論

**反対**  
小川 原因究明の調査がされていないので、対処の方法も検討できないのではないかと。  
瀬戸山 学校給食のあり方を訴えるべき。

**賛成**  
上園 安全安心な食の提供のため、一日も早く改善を。  
前田 センターが稼働できない時は、弁当を持たせるなど保護者に負担がかかるので、早急につくり替えを。

## 元再任用職員の裁判は町が約267万円支払うことで決着

一連の経過等については次のとおりです。

### 【裁判の当事者】

(被告) 東串良町

(原告) 町の元再任用職員

### 【裁判の概要】

被告が、原告の再任用の任期を更新しなかったことによる裁判がありました。訴訟の内容は、町に給与の逸失利益(約330万円)の賠償を求

めるものです。一審の鹿児島地方裁判所の判決は、町に約250万円の支払いを命じたものでしたが、町は言い渡された判決に対して不服があるとして控訴しました。二審の福岡高等裁判所宮崎支部の判決は、控訴を棄却するものでした。三審は最高裁判所への上告となりますが、町は上告しませんでした。このことにより、二審の判決が確定し、原告の勝訴となりました。

### 【判決の内容】

町は252万4905円と、これに対する令和3年8月5日から支払い済みまでの年3%の割合による金員を原告に支払いなさい。

### 【議会の対応】

二審の判決後、7月18日の全員協議会において裁判の経過等について説明がありました。原告からの請求が届き次第、早急に支払いたいとの内容から専決処分による対応を了承しました。

8月21日の臨時会において、賠償金等の支払いのため予算を専決処分した旨の説明があり、承認しました。

# 請願・陳情のしかたについて

町政についての要望や希望などを、請願書や陳情書として町議会にどなたでも提出することができます。請願は、1人以上の紹介議員（署名又は記名押印）が必要ですが、陳情は紹介議員は必要ありません。

○年○月○日

東串良町議会  
議長 ○○○○ 様

(陳情者) 住所  
氏名 (印)  
電話番号

件名 ○○○○○○についての陳情書

【趣旨】

.....

.....

.....

## 《作成について》

- ・左記は陳情書の様式例になります。
- ・請願書については、紹介議員の署名又は記名押印が必要です。また、件名「○○○○○についての陳情書」の陳情書の部分を請願書として作成してください。
- ・陳情者の住所を記載し、署名または記名押印してください。
- ・法人の場合には所在地とその名称を記載し、代表者が署名または記名押印してください。
- ・陳情者が複数の場合は、その代表を明記してください。
- ・陳情者の住所、氏名は一般に公開されます。
- ・陳情書は1件ごとにその趣旨を簡明に記載してください。また、必要によっては地図や写真等を添付してください。

## 《提出について》

- ・陳情書は議会事務局でいつでも（開庁日）受け付けています。原則、受付日以降に開会される定例会で取り扱われます。
  - ・定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）あります。
- ※ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。  
(☎63-3132)

## みなさんからの意見

クイズの解答と一緒に寄せられた意見を紹介します。

買い物に行くときタクシーを使えると聞いたことがあります。どのような手続きが必要で、どこからどこまでが、どのくらいの金額になるのかを知りたいと思う町民が多いのではないのでしょうか？

(67歳 女性)

いつも町民のことを考え議論してくださってありがとうございます。東串良町に引っ越してよかったとつくづく思います。商品券の100%割増も嬉しいです。学校給食費の全額助成ぜひ検討お願いします！！♡

(38歳 女性)

マルマリン(管理棟)で飲み物+町内の生産者のピーマン、きゅうりなど販売したら、ドームハウス泊の売り上げにつながるのでは？

(67歳 女性)



みなさんからいただいた意見は、今後、協議や調査を行い、町当局に提言や要望をしていきます。

# QUIZ!

正解者には  
抽選で  
図書カード進呈!  
ふるって  
ご応募ください!



## 【応募方法】

- 郵便はがきに、次の事項を書いて議会事務局までお送りください。
    - ・クイズの答え
    - ・住所、氏名、年齢、電話番号
    - ・議会だよりの感想や、町政に対するご意見、議会へのご要望など（ひとことでもいいです。）
  - 1家族につき、1枚の応募とさせていただきます。
  - 正解者の中から抽選により、3人の方に図書カードをお送りします。
  - しめきりは、令和5年12月11日（月）です。（当日消印有効）
  - あて先  
〒893-1693 東串良町川西1543  
東串良町議会事務局
- ※なお、正解者は、本人が特定されない範囲内で掲載させていただきます。

本町でピーマンの栽培が始まったのは、いつ頃でしょうか。

- ① 昭和30年代
- ② 昭和40年代
- ③ 昭和50年代

## 議会だよりクイズ第24弾の答え

**問題** 町内に信号機（点滅信号も含む）のある交差点は、いくつあるでしょうか。

**答え** ② 8か所

応募総数4通、正解者2人、正解者2人に図書カードを進呈しました。（川東・67歳・女性）、（新川西・67歳・女性）

## 議会だよりに投稿しませんか

例えば

1. この町に住んで感じること
2. 議会を傍聴して（感想等）
3. 将来の夢
4. 東串良町の未来図（図画）
5. 自慢のワンショット写真
6. イラスト（自作に限る）・・・・・・・・・・など

1～3の文字数については、500字以内でお願いします。なお、添削する場合があります。

### 【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。（持参可）  
なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢（学校名と学年）、電話番号、匿名希望者はペンネーム

【応募先】 〒893-1693 東串良町川西1543番地 東串良町議会事務局  
メールアドレス：gikai@higashikushira.com

【しめきり】 令和6年1月10日必着

【注意】 作品の返品はいたしません。



● 議会だより「東くしら」に採用された方には、図書カードをお送りします。

● 応募作品は、第160号（2月発行）で掲載する予定です。

投稿  
まっ  
まーす!



# 輪 わ 和 わ 話 わ のひろば

Vol.41

このコーナーは、町内のあちろちろの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願ひします。



和気あいあい練習しています 🌈



練習でも正確なスコアを記録 🏆

## 別府原老人クラブの グラウンドゴルフ チーム

今回は、別府原老人クラブを紹介します。今から10年ほど前、グラウンドゴルフが流行り始めたとき、健康のためにとチームを結成し、活動を始めました。現在は約25名の現役プレイヤーで構成されています。

す。グラウンドゴルフの練習は週に2回、夏場は1回の頻度で行っており、仲間の打球を見ながら「あいた。もうちょっと、こっちやったなー。」と一緒に残念がったり、褒め合ったり、切磋琢磨しながら練習に励んでいます。休憩中は、最近の出来事や近況を仲間と話することが、皆さんの楽しみとなっています。

代表の下園勝敏さんは「これからも健康のため練習と仲間づくりを頑張りたい」と話されました。

### 〜ひとこと〜

暑い中、町の練習場で一生懸命頑張っている姿を見るたびに感動します。これからも体に気をつけて、頑張ってください。

(取材 西園 貞美)

## 表紙の案内



表紙は、地域おこし協力隊の荒井俊太郎さん（横浜市出身）です。取材をしたこの日は、肉用牛定休型ヘルパー組合員と共に川路さんの牛舎の手伝いをしていました。

現在、荒井さんは肉用牛定休型ヘルパー組合と共に登録農家さんの飼養管理やロール運び、田植え、牛舎床替えなどの手伝いをしています。

東串良町に来るまでは、農業とは全然無縁でしたが、今、農家の方々と営農活動に従事し、休日は、筋トレとランニング、登山を楽しんでいます。

荒井さんは、「人手不足の中、ヘルパー組合は大変貴重です。御理解、応援よろしくお願ひいたします。」とのことでした。

## 編集後記

と、14項目の政策的提案をしました。

初当選後の議員の活動は、全てが新鮮で学ぶことが多いです。9月議会は、6月議会よりも会期が長く、19日間で5年度一般会計補正予算などの議案と、4年度の決算の審査を行いました。決算審査特別委員会では、執行部より提出された令和4年度歳入歳出決算書及び主要施策の成果説明の審査が活発に行われました。審査を終え、議会は執行部に対し、評価する点16項目

一般質問では、複合施設建設計画と給食センター建替えについて、町長や教育長に対し、現状や考え方、進め方など疑問点を質す議員が多かったです。私も議員として5ヶ月が経ち、9月議会では初めて一般質問を行いました。少しずつ議会の雰囲気にも慣れ、今後は住みやすい町づくりに貢献できるように、議員全員で頑張っていきたいと思ひます。

上池 勝彦